

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	計測工学Ⅱ		
科目基礎情報								
科目番号	0083			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	機械工学科			対象学年	3			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	前田良昭ほか著『計測工学』コロナ社, 2001年, 2700円+税／授業中に配布する印刷物							
担当教員	小田 功							
到達目標								
1. 二次元データを整理する方法を理解し, 知識を適用できる. 2. 最小二乗法を理解し, 知識を適用できる. 3. 間接測定における誤差を理解し, 知識を適用できる. 4. 代表的な物理量の計測機器の原理を理解し, 知識を適用できる.								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	二次元データを整理する方法を理解し, 知識を適用できる.			二次元データを整理する方法について説明できる.		二次元データを整理する方法について説明できない.		
評価項目2	誤差の伝播を理解し, 知識を適用できる.			誤差の伝播について説明できる.		誤差の伝播について説明できない.		
評価項目3	代表的な物理量の測定法を理解し, 知識を適用できる.			代表的な物理量の測定法について説明できる.		代表的な物理量の測定法について説明できない.		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	1. 二次元データを整理する方法について学習する. 2. 最小二乗法の考え方について学習する. 3. 間接測定における誤差を計算で求める方法について学習する. 4. 代表的な物理量の計測機器について学習する.							
授業の進め方・方法	1. 授業は講義形式でおこない, 適宜, 演習問題を課す. 2. 教科書以外にも, 授業中に資料を配布し, それらに基づいて授業を進めていく. 3. この科目は学修単位科目のため, 事後学習として課題を課す. 4. 授業90分間に対して180分以上は予習, 復習や課題作成の時間に充てること.							
注意点	1. 計算を多用するので, 関数電卓を持参すること. 2. 配布資料を紛失することのないよう, ファイリングしておくこと. 3. 課題の期限内提出を厳守すること.							
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	間接計測における誤差		直接測定と間接測定の違いを理解し, 知識を適用できる.			
		2週	間接計測における誤差		誤差の伝播と誤差等分の原理を理解し, 知識を適用できる.			
		3週	二次元データの整理と散布図		二次元データから散布図を描く方法を理解し, 知識を適用できる.			
		4週	最小二乗法		最小二乗法を用いて回帰直線を求める方法を理解し, 知識を適用できる.			
		5週	最小二乗法		観測方程式から最確値を求める方法を理解し, 知識を適用できる.			
		6週	相関係数と回帰直線		散布図から相関係数を求める方法を理解し, 知識を適用できる.			
		7週	変位や位置の測定		変位や位置の代表的な測定法を理解し, 知識を適用できる.			
		8週	後期中間試験		試験実施			
	4thQ	9週	答案返却		答案の返却と解説			
		10週	変位や位置の測定		変位や位置の代表的な測定法を理解し, 知識を適用できる.			
		11週	力や圧力の測定		力や圧力の代表的な測定法を理解し, 知識を適用できる.			
		12週	力や圧力の測定		力や圧力の代表的な測定法を理解し, 知識を適用できる.			
		13週	回転運動の測定		回転運動の代表的な測定法を理解し, 知識を適用できる.			
		14週	温度の測定		温度の代表的な測定法を理解し, 知識を適用できる.			
		15週	後期定期試験		試験実施			
		16週	答案返却		答案の返却と解説			
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

專門的能力	60	0	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0